

Contents

- 2-3 四国四県町村長・町村議会議長大会
- 4 当選首長の紹介 / 当選議員の紹介
- 5 議員報酬調べ
- 6 まんが甲子園
- 7 全国町村議会議員
団体補償制度（ケガの保険）
- 8-9 シリーズ 町村の取組
- 10 全国町村議会議員 団体医療保険

町村 うち

2021



N o v



高知県吾川郡仁淀川町（安居渓谷）

仁淀川支流の安居川上流部にある安居渓谷は、原始林と崖に囲まれ、青とも緑ともつかない清々しい水流に高知の強烈な日差しが差し込む「仁淀ブルー」の美しい景勝地です。（P.9 もご覧ください）

新型コロナウイルス感染症対策に関する 特別決議等を決議

四国四県の町村会及び町村
議会議長会は、「令和3年度
四国四県町村長・議長大会」
を書面により開催した。

この大会は、町村長と議長
議長が執行部と議会の立場を
超えて「元氣溢れる地域を
つくる」との強い信念のも
と、町村の抱える重要課題に
ついて研修・意見交換・審議
し、その実現のためお互いに
連携を密にしながら総力を結
集して行動し、多様で個性豊
かな町村自治の振興と住民福
祉の向上を期することを目的
としている。

本来であれば四国57町村の
町村長・町村議会議長等が、
本年度開催担当県となる高知
県に一堂に会し開催する予定
であったが、全国的な新型コ
ロナウイルス感染症の急拡大
(第5波)を受け、書面での
開催となった。

宣 言

四国には、四国八十八箇所霊場をはじめ世界に誇れる独自の歴史・文化が根づいている。また、多島美の瀬戸内海、黒潮躍る太平洋、美しい山々、素晴らしい田園風景など美しく豊かな自然があり、日本のふるさとの原風景が脈々と受け継がれている。

我々町村は、それぞれの地域が持つ豊かな自然、そこに暮らす人々の営み、そこから生まれた風習や伝統文化を大切にしながら、新たな価値を付加し、魅力ある地方を創生していかなければならない。

しかしながら、昨年来、世界的な新型コロナウイルス感染症の大流行は、我が国においても例外ではなく、今なお各方面に甚大な影響を及ぼしている。さらに、四国地方においては、急速な少子・高齢化の進展、大都市圏への人口流出などにより、農林水産業をはじめとする地域経済のみならず、集落活動や地域文化の担い手不足などで、地域活力は低下の一途を辿っており、特に、中山間地域や離島においては、買い物や移動手段といった生活面での不安も抱え、近い将来、集落の消滅さえ危惧されている。

この非常に困難な状況を打開すべく、国と地方は「地方の再生なくして日本の再生なし」という強い信念を持ち、地方独自の創意工夫や国・地方の緊密な連携のもとに、人口減少の克服と地方創生の充実・強化に総力を挙げて取り組んでいかなければならない。

我々、四国57町村長と議長は、人々がふるさに誇りを持ち、希望と活力に満ち溢れた地域社会を実現するため、持てる限りの英知と努力を傾注することをここに誓うものである。

以上、宣言する。

令和3年9月27日 四国四県町村長・議長大会

令和3年度四国四県町村長・議長大会の 書面開催に係る提案内容

1 提出議題

- (1) 地方財政の充実・強化及び地方創生の推進について
- (2) 医療・福祉施策の充実・強化について
- (3) 南海トラフ地震対策及び防災・減災対策の充実・強化について
- (4) 四国地方の交通基盤等の整備促進について
- (5) 農林水産業・地域の活力創造について

2 決議

3 特別決議

- (1) 参議院選挙の合区の見直しに関する特別決議
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策に関する特別決議

4 「四国遍路」の世界遺産登録の推進に関する共同アピール

議事内容は、四国四県の共通課題5項目についての決議、2項目の特別決議、また「四国遍路」の世界遺産登録の推進に関する共同アピールが提出された。表決の結果、提出内容のすべてについて全会一致で決定した。



参議院選挙の合区の見直しに関する特別決議

日本国憲法が昭和22年に施行されて以来、二院制を採る我が国において、参議院は一貫して都道府県単位で代表を選出し、地方の声を国政に届ける役割を果たしてきたが、平成28年7月に憲政史上初めて合区による選挙が実施され、令和元年7月には2度目の合区による選挙が実施されたところである。

その結果、合区の対象となった4県のうち、3県で投票率は過去最低となった。前回実施の参院選から比例代表に新たに「特定枠」が導入されたが、投票率の低下や直接候補者と接する機会の減少など、合区を起因とした弊害が顕在化したままである。

このことは、コロナ後の社会を見据え、我が国が直面する急激な人口減少問題をはじめ、この国のあり方を考えていく上でも、多様な地方の意見が都道府県ごとに集約された意思として参議院を通じて国政に届けられなくなるばかりか地方創生にも逆行するものである。

合区に対しては、地方6団体の全団体において合区の早期解消を決議しており、合区問題の抜本的な解決は「地方の総意」でもある。

ついては、早急に、憲法改正等により「合区の解消」を行い、都道府県単位による代表が国政に参加できる選挙制度とすることを強く求める。

新型コロナウイルス感染症対策に関する特別決議

新型コロナウイルス感染症については、緊急事態宣言の発令やワクチン接種の加速など、医療従事者をはじめ、事業者や関係団体、国民が一丸となって、感染防止対策に取り組んでいる。

四国地方においては、医療資源が乏しい地域も多く、感染拡大により地域全体の医療崩壊が危惧されるとともに、長引くコロナ禍で、宿泊観光業、飲食業、農林漁業など幅広い業種において、かつてないほどのダメージを受けるなど、医療提供体制の確保とともに、事業や雇用を守るための速やかな支援が課題となっている。

そうした中、町村においては、住民の安全・安心を確保し、暮らしへの影響を最小限とするため、地域における最善の方法を選択し、全力を挙げて様々な取組みを進めている。我々、四国57町村の町村長と町村議会議長は、全国町村会及び全国町村議会議長会と協調し、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に全力を傾注していく決意であるが、国においては、コロナ下・コロナ後の社会を見据え、下記事項に係る各般の対策を確実に講じていただくよう、強く求める。

記

- 1 住民の命と健康を守るため、限りある医療資源を効率的に活用するとともに、誰一人取り残されることが無いよう医療・介護サービス等の提供体制の確保を図ること。
- 1 ワクチン接種を希望する国民に確実に接種できるよう、引き続きワクチンの供給確保に努めるとともに、ワクチンの種類、供給量、供給時期などを速やかに自治体に情報提供すること。
- 1 新型コロナウイルス感染症の影響下における子どもたちの学びを保障するとともに、少子化対策に貢献する地方での暮らし・子育てしやすい環境づくりに積極的な支援を行うこと。
- 1 長引くコロナ禍により大きなダメージを受けている宿泊観光業、飲食業、農林漁業、交通事業などの事業者に対して、事業継続に必要な財政支援を行うこと。
- 1 地方の安全・安心な暮らしの実現と経済の回復を加速させるため、国土強靱化及び防災・減災対策の推進について、安定的かつ十分な財源を確保し、積極的な推進を図ること。
- 1 新型コロナウイルス感染症の影響による収収等の落ち込みにより、財政事情が厳しい状況にあることから、町村における財政運営に支障が生じないよう万全な地方財政対策を講じること。
- 1 医療機関、教育現場や職場等、あらゆる場面での新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見を防止するため、正しい知識・正しい情報の普及啓発に努めること。

高知県町村議会議員報酬調べ

(令和3年11月1日現在)

人口 段階 区分	町村名	議 員 報 酬 (月額)				
		議 長	副 議 長	常任委員長	議運委員長	議 員
二千人未満 4村	大川村	232,000	175,000	161,000	161,000	155,000
	馬路村	236,000	190,000	173,000	173,000	162,000
	北川村	300,000	240,000	230,000	230,000	220,000
	三原村	237,000	189,000	177,000	177,000	170,000
	平均	251,250	198,500	185,250	185,250	176,750
二千人以上 五千人未満 11町村	東洋町	233,000	191,000	174,000	174,000	163,000
	安田町	236,000	195,000	185,000	185,000	170,000
	田野町	238,000	192,000	176,000	176,000	165,000
	奈半利町	233,000	190,000	176,000	176,000	164,000
	梶原町	270,000	240,000	230,000	230,000	220,000
	本山町	261,000	214,000	201,000	201,000	190,000
	大豊町	268,000	214,000	199,000	199,000	192,000
	芸西村	236,000	192,000	176,000	176,000	164,000
	土佐町	263,000	213,000	199,000	213,000	190,000
	大月町	244,000	196,000	181,000	181,000	175,000
	日高村	249,000	199,000	186,000	186,000	180,000
	平均	248,273	203,273	189,364	190,636	179,364
五千人以上 一万人未満 4町	仁淀川町	252,000	204,000	190,000	190,000	181,000
	越知町	243,000	199,000	184,000	184,000	179,000
	津野町	250,000	200,000	180,000	180,000	175,000
	中土佐町	254,000	201,000	191,000	191,000	182,000
	平均	249,750	201,000	186,250	186,250	179,250
一万人以上 二万人未満 3町	黒潮町	254,000	202,000	187,000	187,000	180,000
	佐川町	269,000	213,000	194,000	194,000	189,000
	四万十町	310,000	270,000	265,000	265,000	250,000
	平均	277,667	228,333	215,333	215,333	206,333
二万人以上 1町	いの町	305,000	237,000	222,000	222,000	214,000
	平均	305,000	237,000	222,000	222,000	214,000
23町村	平均	255,348	206,783	192,913	193,522	183,913

※ 土佐町議会運営委員会委員長は副議長が兼務

当選首長の紹介

佐川町長

片岡 雄司 氏 (57)

【経歴】

近畿大学卒
平成元年4月 佐川町役場入り
平成26年4月 チーム佐川推進課長
平成29年4月 教育委員会教育次長
令和2年4月 議会事務局長
令和3年3月 佐川町役場 退職
令和3年10月 佐川町長 就任
現在に至る



ご挨拶

この度の町長選挙におきまして、町民の皆様と各方面からの暖かいご支援とご厚情を賜り、町長に就任することができました。

これまでの行政経験と培ってきた人脈を活かし、町民の皆さまとの対話を大事にし、「オール佐川」で次世代につなぐ明るいまちづくりを進めてまいります。まずは、町民一人ひとりに寄り添った、きめ細かな課題解決に力を入れるべく、各分野での取り組みに全力で取り組んでまいります。

今後とも皆様方の、より一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

仁淀川町長

古味 実 氏 (57)

【経歴】

大阪経済法科大学卒
昭和63年4月 旧仁淀村役場入り
平成28年1月 企画課長
平成30年4月 教育委員会教育次長
令和3年4月 仁淀川町役場 退職
令和3年8月 仁淀川町長 就任
現在に至る



ご挨拶

この度の町長選挙におきまして、多くの町民の皆様をはじめ各方面から力強いご支援とご理解をいただき、仁淀川町政を担わせていただくことになりました。町民からの信頼とご期待にお応えするため、精魂込め全力で取り組む覚悟でございます。

コロナ禍で閉塞感が漂うなか、明るく希望が持てる町を目指し、「住んでいて良かったと思えるまちづくり」、「町民目線での行政運営」、「健全な財政運営」に取り組めます。

皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

当選議員の紹介

十月に行われた佐川町議会議員選挙の結果、次の方々がご当選され、組織議会で議長（◎印）、副議長（○印）が選出されました。心よりお慶び申し上げます。

佐川町（任期R3・10・16）
○ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正彦 氏 (73)
◎ 山本 和輝 氏 (48)
◎ 永田 耕朗 氏 (73)
◎ 田村 幸生 氏 (63)
◎ 下川 芳樹 氏 (67)
◎ 坂本 玲子 氏 (69)
◎ 齋藤 光 氏 (31)
◎ 岡村 統正 氏 (73)
◎ 岡林 哲司 氏 (42)
◎ 佐川町長 片岡 雄司 氏 (57)
◎ 西森 勝仁 氏 (73)
◎ 橋元 陽一 氏 (71)
◎ 藤原 健祐 氏 (74)
◎ 松浦 隆起 氏 (58)
◎ 宮崎 知恵子 氏 (73)
◎ 森 正

全国町村議会議員 団体補償制度

ケガの保険

(傷害総合保険)

- 保険期間 毎年7月1日午後4時から1年間(随時加入できます。)
- 加入資格 全国の町村議会議員等、議会事務局職員、系統町村議会議長会職員

補償の対象となる場合(例えば次のような事故によりケガをした場合、補償の対象となります。)

ケガ

加入者(議員)
ご本人
および
配偶者
(夫婦型に
ご加入の場合)



演説中・公務中の事故



車での移動中の事故



飛行機搭乗中の事故



スポーツ中の事故

夫婦型
のご加入
をおすすめ
します。

個人賠償責任

自転車で他人に
ぶつかり
ケガをさせた



飼い犬が他人に噛みついて
ケガをさせた



同居のこども・孫が
他人のものを破損した



買い物中に誤って
商品をこわした

事故例

賠償額
概 算 **9,521万円**

《事故の概要》

男子小学生(11歳)が夜間、帰宅途中に自転車で走行中、歩道と車道の区別のない道路において歩行中の女性(62歳)と正面衝突。女性は頭蓋骨骨折等の傷害を負い、意識が戻らない状態となった。

(神戸地方裁判所、平成25(2013)年7月4日判決) 出典: 日本損害保険協会公式ホームページ

保険金額と掛金(保険料+事務運営費)

(注)本人型と夫婦型は、重複して加入できません。(保険期間 2021年7月1日から1年間 職種級別A級)年払の場合
天災危険補償特約・後遺障害等級限定補償特約(第1級～第3級)・手術保険金倍率変更特約および重大手術保険金倍率変更特約セット

加入タイプ		本人型		夫婦型	
ケガの補償の対象者		加入者(議員・退職議員)本人		加入者(議員・退職議員)本人 配偶者	
補償内容		保険金額		保険金額	
ケガ	死亡	交通事故	2,043万円	2,043万円	1,309万円
	後遺障害	交通事故以外	1,113万円	1,113万円	604万円
	入院	交通事故	日額8,000円	日額8,000円	日額8,000円
		交通事故以外	日額4,000円	日額4,000円	日額4,000円
	手術	交通事故	<重大手術の場合> 入院保険金日額の40倍 <重大手術以外の場合> 入院中の手術: 入院保険金日額の20倍 外来の手術: 入院保険金日額の5倍	<重大手術の場合> 入院保険金日額の40倍 <重大手術以外の場合> 入院中の手術: 入院保険金日額の20倍 外来の手術: 入院保険金日額の5倍	<重大手術の場合> 入院保険金日額の40倍 <重大手術以外の場合> 入院中の手術: 入院保険金日額の20倍 外来の手術: 入院保険金日額の5倍
		交通事故以外	日額3,720円	日額3,720円	日額3,720円
通院	交通事故	日額2,500円	日額2,500円	日額2,500円	日額2,500円
	交通事故以外	最高2億円 (自己負担額なし)	最高2億円 (自己負担額なし)	最高2億円 (自己負担額なし)	最高2億円 (自己負担額なし)
個人賠償責任		個人が日常の生活で、他人にけがをさせたり、他人の財物を損壊したとき(火災等による、盗難等の賠償責任を負った場合を除く(自動車事故、保険事故等))	最高2億円 (自己負担額なし)	最高2億円 (自己負担額なし)	最高2億円 (自己負担額なし)
保険料		20,000円	20,000円	33,000円	33,000円
事務運営費		2,000円	2,000円	2,000円	2,000円
掛金(保険料+事務運営費)		22,000円	22,000円	35,000円	35,000円

本年度は、約31%(注)の割引となります。(注)団体割引30%、過去の損害率による割増10%、大口割引10%を乗算しています。

事務運営費は本制度の運営に必要な費用(様式のとりまとめ、掛金の集金等)に充当しています。

※傷害総合保険と交通傷害危険のみ補償特約セット傷害総合保険がセットされたプランなので、「交通事故」の場合、傷害総合保険と交通傷害危険のみ補償特約セット傷害総合保険の両方から保険金をお支払いします。

新規・中途加入者の掛金(保険料+事務運営費)					
補償開始日	掛 金		補償開始日	掛 金	
	本人	夫婦型		本人	夫婦型
7月1日	22,000円(保険料20,000円)	35,000円(保険料33,000円)	1月1日	11,000円(保険料10,010円)	17,500円(保険料16,520円)
8月1日	20,200円(保険料18,340円)	32,100円(保険料30,250円)	2月1日	9,200円(保険料8,340円)	14,600円(保険料13,750円)
9月1日	18,400円(保険料16,660円)	29,200円(保険料27,500円)	3月1日	7,400円(保険料6,660円)	11,700円(保険料10,990円)
10月1日	16,500円(保険料15,000円)	26,300円(保険料24,760円)	4月1日	5,500円(保険料5,010円)	8,800円(保険料8,260円)
11月1日	14,700円(保険料13,340円)	23,400円(保険料22,010円)	5月1日	3,700円(保険料3,350円)	5,900円(保険料5,520円)
12月1日	12,900円(保険料11,660円)	20,500円(保険料19,250円)	6月1日	1,900円(保険料1,660円)	3,000円(保険料2,750円)

全国町村議会議員互助会(保険契約者) 〒102-0082 東京都千代田区一番町25 全国町村議員会館 電話 03-3264-8172

●本保険制度は、損害保険ジャパン株式会社を幹事保険会社とする損害保険会社4社の共同引受であり、幹事保険会社が他の保険会社の代理・代行を行います。引受保険会社は、各々の引受割合に応じて連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。引受保険会社と引受割合については、取扱代理店までお問い合わせください。

●ご契約者以外に対象となる方(被保険者)がいいらっしゃる場合には、その方にもパンフレットに記載した内容をお伝えください。

この広告は概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店または損保ジャパン営業店までお問い合わせください。

◎取扱代理店 株式会社まちむら 〒102-0082 東京都千代田区一番町25番地 全国町村議員会館 電話 03-3264-6830(受付時間: 平日の午前9時から午後4時まで)

◎幹事引受保険会社 損害保険ジャパン株式会社 団体・公務開発部第三課 〒160-8338 東京都新宿区西新宿 1-26-1 電話 03-3349-5408(受付時間: 平日の午前9時から午後5時まで)

SJ21-00000 2021.0.00



振興協会

1 プロの漫画家によるドローイングショー 2 大会の様子 3 表彰式

まんが甲子園開催!!



▲テーマ
「アナザーオリンピック」
明徳義塾高等学校

高校生のチームによるまんが制作を競う大会「全国高等学校まんが選手権大会(通称・まんが甲子園)」本選大会が、8月6日～7日に高知市を中心に開催されました。

この大会は、(公財)高知県市町村振興協会が第12回大会から支援しております。今回は新型コロナウイルス感染症対策のため史上初のオンライン開催となり、高知市の会場と参加校をオンラインでつなぎ、インターネット動画配信サイトのニコニコ動画にて生配信する形で実施されました。

高知県勢は高知商業高等学校、そして野球部とダブルで甲子園出場となった明徳義塾高等学校です。

1日目は、エントリーした178校の中から予選を勝ち抜いた国の内外の40校が出場。第一次競技のテーマは「アナザーオリンピック」で、5時間半の制限時間内に3～5人のチームで

2日目に発表された決勝テーマは、「30度目の正直」。結果は栃木県の宇都宮文星女子高等学校が2019年に続き最優秀賞に選ばれました。新型コロナウイルス感染症拡大による昨年大会の中止を挟み、大会史上初の2連覇となりました。2位は高知商業高等学校、3位は富山第一高等学校でした。

また、高知県市町村振興協会賞は栃木県立宇都宮中央女子高等学校が受賞しました。

表彰式もオンラインで画面越しに行われ、当協会の戸梶眞幸理事長(日高村長)から賞状を授与しました。



富山第一高等学校

高知商業高等学校

宇都宮文星女子高等学校

テーマ『30度目の正直』

作品貸出のお知らせ

まんが甲子園でこれまで制作された高校ペン児の作品を、皆さんの市町村のイベント等で展示してみませんか?

【問い合わせ先】
まんが甲子園事務局
(高知県まんが王国土佐推進課内)
電話番号 088-823-9711

※作品をパネル化したものを無料で貸し出します。(配送費や設営費はご負担願います。)詳しくは、問い合わせ先担当課へ。



高知県市町村振興協会賞
栃木県立宇都宮中央女子高等学校

田舎の日常、五感が喜ぶ思い出の秋

「なんちゃあない」
は昔のはなし

この秋、高知県では「ゆず FeS」が中芸地域（奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村）で、「仁淀ブルー体験博 2021」が仁淀川地域（土佐市、いの町、仁淀川町、佐川町、越知町、日高村）で沢山の体験プログラムと一緒に魅力いっぱい開催されます。

「うちんく（＝わたしのところ）にはこんなモノがあったけど、外のひとはこれを喜んでくれるだろうか？」
田舎ではそれが日常でも、訪れるひとはきっと非日常。そんな非日常の体験メニューの数々、是非一度ホームページからどっぷり浸かってご覧ください！
そして非日常を体験してください！

▼「ゆずとりんてつ」からマンガが発刊されました



「ゆずとりんてつ」HP

<https://yuzuroad.jp/>



「ゆず FeS」Facebook

<https://ja-jp.facebook.com/yuzuFeS2018/>



中芸地域「ゆずFeS」全18プログラム

馬路村 馬路村で1泊2日ゆず満喫
東谷組合長と一緒にゆずを収穫しませんか！

11月に馬路村で、香りのよいゆずを収穫して畑でゆずの手絞り体験をします。馬路村のゆずの歴史や調理方法を組合長と話しながら学び、夜はうまじ温泉で組合長と一緒に食事を楽しみましょう。また、うまじ温泉でゆっくりとした時間を過ごすことができます！

- 日時：11月25日（木）～26日（金）11:30～
- 参加費：大人20,000円（宿泊代、食事代を含む）
- 場所：うまじ温泉（安芸郡馬路村3564-1）
- 申込・問い合わせ：MAIL umaji@yuzu.or.jp 電話 0120-559-659

安田町 今だから家族みんなで見たい、映画「森聞き」
森の中の映画館で、林業の世界をのぞこう！

かつて林業で栄えた中芸地区。その森の中にある小さな映画館で、森と生きることをテーマにした映画を鑑賞します。映画「森聞き」…2011年公開のドキュメンタリー映画。4人の高校生が森の名人たちに聞き書きをし、人生について考える。網一本で杉の大木に上り種を採集する76歳のおじいちゃん。小学生のころから焼き畑を続けてきた85歳のおばあちゃん…年輩の名人たちの言葉に、今まさに人生の岐路に立つ高校生たちの魂は、ゆっくりと、しかし確実に揺さぶられていく。「あなたの心の森の声はどこ？」

- 日時：11月23日（火）～28日（日）①13:00～ ②19:00～
- 参加費：大人1,800円／中学生1,300円、小学生1,000円
- 場所：大心劇場（安芸郡安田町内京坊992-1）
- 申込・問い合わせ：大心劇場 電話 0887-38-7062

安田町 美味しいステーキの焼き方を教えます。
快適生活研究家・田中ケンのOGビーフBBQ講座

「安田川アユおどる清流キャンプ場」を管理運営する快適生活研究家田中ケンが、ぶ厚いステーキ肉の美味しい焼き方を伝授します！キャンプの醍醐味といえば、やっぱりBBQ！その中でも主役となるステーキを美味しくいただく驚きのヒントがたくさん聞けちゃいます。使う道具は勿論コールマンのホワイトガソリンツーパーナー。自身で焼いたオーギービーフのステーキにサラダ、キャンベルスープのランチをお楽しみください。

- 日時：11月27日（土）・11月28日（日）各日12:00～13:00
- 参加費：大人3,000円／小学生以下1,500円
- 場所：安田川アユおどる清流キャンプ場（安芸郡安田町大字船倉500）
- 申込・問い合わせ：中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会 電話 0887-30-1865

※各プログラムの詳細はホームページやSNSでご確認ください。



仁淀ブルートリップガイド

<https://niyodoblue.jp/>



いの町 本川手箱きじを知り尽くしたシェフが魔法をかける
自分で獲って、絞めて、捌いて、食べる
きじの玉手箱 イタリアンランチコース！

普段の食卓に上がる食材がどのように作られているのか。気になったことのある方は多いはず。しかし、そんな生産の現場にはなかなか入ることはできません。今回はそんな生産の現場に入り、食鳥解体の全てを体験（解体体験を希望されない場合は見学のみ可）。さらにその自分自身で精肉したお肉を地元のシェフが調理しランチコースとしてお楽しみいただけます。四国内でも3ヶ所しか作っていないきじ肉。その1つである本川手箱きじ生産企業組合が貴重な体験と味をご提供致します。

- 日時：11月27日（土）・11月28日（日）各日9:30～14:00
- 参加費：大人8,800円
- 場所：本川手箱きじ事務所（吾川郡いの町葛原231-4）
- 申込・問い合わせ：仁淀ブルー体験博公式WEBサイト
- ※詳細のお問い合わせは、木の根に萌す。唐木田 電話 080-8632-0841 まで

いの町 作ったハガキを「ありがとうポスト」から大切な人に届けよう！
親子で体験！仁淀川のアユをモチーフにした
和紙ハガキづくり

仁淀川を泳ぐ「清流の女王」アユをモチーフに、仁淀ブルーをイメージした青いグラデーションが入った和紙のアユ型ハガキを、親子で一緒に手漉きで作ります。このイベント限定のアユ型ハガキ2枚の他に、通常のハガキ型も4枚作ることができます。完成したあとは会場の「いの町紙の博物館」駐車場にある「ありがとうポスト」から、大切な人にお便りを出しましょう。特別に、伊野郵便局だけの消印（風景印）を押してもらえます。大切な人や自分あてに、手作りのぬくもりを届けてみませんか。

- 日時：11月13日（土）・11月14日（日）各日9:00～16:00 ※終了しました
- 参加費：大人1,000円
- 場所：いの町紙の博物館（吾川郡いの町幸町110-1）
- 申込・問い合わせ：いの町紙の博物館 電話 088-893-0886

中津谷 フォトグラファー細木拓也氏と一緒に
仁淀川の“青”ハンティング
仁淀ブルー絶景撮影バスツアー【中津溪谷編】

中津溪谷は、巨岩とその間を縫うように流れる「仁淀ブルー」を楽しめる人気スポット。この壮大な溪谷美をどうやって写真に収めるか……フォトツアーに参加してベストショットと一緒に見つけましょう！ほかに、仁淀川河口のダイナミックな風景、歴史を感じさせる佐川の城下町や酒蔵群など、魅力ある撮影スポットへ、このエリアを知り尽くした地元カメラマンが皆様をお連れします。カメラ初心者やスマホ参加も大歓迎です！川魚を堪能できるランチ付き♪

- 日時：11月30日（火）8:00～17:00
- 参加費：大人8,000円
- 場所：高知駅バスターミナル（高知市栄田町2丁目2）
- 申込・問い合わせ：仁淀ブルー体験博公式WEBサイト

仁淀川地域「仁淀ブルー体験博」全33プログラム

全国町村 議会議員 団体医療保険

新・団体医療保険（医療保険基本特約・疾病保険特約セット団体総合保険）

保険期間 令和4年1月1日午後4時から1年間

「病気」を補償し、ご安心をお届けする制度です。



安心の団体医療保険3つの特長

1 病気による入院・手術を補償します！

- 三大疾病（がん・急性心筋こうそく・脳卒中）となった場合の補償もセットできます。
- 病気による入院は、日帰り入院から補償します^{（注1）}。
- 1回の入院につき120日限度、通算1,000日まで補償します。

2 団体割引30%適用で、割安な保険料です！ 議員・退職議員・町村議会事務局の 皆さまのための制度です！

- 議会議員を退職後も、継続してご加入できます。
- 議員・退職議員の皆さまの配偶者の方もご加入できます。
- 町村議会事務局の方もご加入できます。
- 満79歳（保険始期（1月1日）時点の満年齢）までご加入できます。

3 お手続きは簡単です！

- ご加入の際、医師の診査は不要です。簡単な告知でご加入できます^{（注2）}。
- 保険期間は1年間です。以降1年ごとに自動継続となりますので、お手間がかかりません^{（注3）}。

（注1）日帰り入院とは、日帰り手術のため1日だけ入院と同じような形で病室を使用した場合等のことをいい、「入院料」の支払いの有無で判断します。

（注2）加入依頼書および被保険者健康告知書の内容により、ご加入をお断りする場合や、特別な条件付きでご加入いただく場合があります。

（注3）本制度は保険期間の途中でのご加入はできませんのでご了承願います。

※このポスターは概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。

【保険契約者】
全国町村議会議員互助会

【取扱代理店】
株式会社 まちむら
〒102-0082 東京都千代田区一番町25番地 全国町村議会館2階
TEL 03-3264-6830 FAX 03-3264-8308
（受付時間：平日の午前9時から午後4時まで）

【引受保険会社】
損害保険ジャパン株式会社
団体・公務開発部 第三課
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL 03-3349-5408 FAX 03-6388-0162
（受付時間：平日の午前9時から午後5時まで）

SJ21-00000 2021.0.00